

鶴舞公園・市公会堂での卒業式

これまで卒業式は白鳥の名古屋国際会議場で行われたが、会場の都合で市公会堂になった。鶴舞(つるま)公園にある公会堂は 1930 年完成であり、こげ茶色でタイル張りの重厚な建物である。レトロ調で歴史と風格を感じさせ、館内も天井が高く、厳粛な卒業式にふさわしい。5月3日の憲法記念集会では、満員の観客席から舞台を見てきたが、今回は壇上から卒業生らを見つめることになった。



卒業式のあとは、4階大会議室での卒業証書・学位記授与式である。授与に先立ち、研究科長・学部長としてお祝いの挨拶を述べた。「よく耐えて、時の力をたのむべし」というメッセージを送った。

これには「わけ」がある。卒業式をひかえ、つらい「出来事」があり、どうしても学生に伝えなかったメッセージであった。研究科長・学部長として最後の公的な挨拶であり、緊張しながらも、いつもの「調子」も出すことができた。



私が挨拶している写真は、ゼミの卒業生に撮ってもらったものだ。その下の写真は、4階から鶴舞公園のシンボルでもある噴水塔のあたりを撮ったもので、運動部の学生らが見える。鶴舞公園は小さい頃からよく利用したことがあるが、いまは都心近くの花と緑あふれる貴重な



空間となっている。いつものことながら、卒業式のあとは「安堵」と「惜別」が交錯する複雑な心境となるが、今年はとりわけ感慨深いものがある。

(2006年3月26日 記)